



## みんなで守ろう 那須野が原の美しい自然



本県の生乳生産量は本州ナンバーワンの座を守っています。那須塩原市、那須町など県北地域を中心に約5万3千頭の乳牛が飼育されており、年間約30万トンの生乳を生産しています。この新鮮でおいしい生乳も豊かな大地にはぐくまれているのです。

9月2日は  
牛乳の日  
那須塩原市畜産振興会では、那須塩原市が全国でも有数の生乳の産地であることから、9月2日を「牛乳の日(9と2で「ぎゅーにゅう」と読ませる語呂合わせ。)」として定めています。



那須野が原にはオオタカが生息しています。一時は絶滅危惧種に指定されました。ワシ・タカ類は自然界の食物連鎖の頂点に位置しています。したがって彼らの生息環境を守ることは、その地域の特徴的な自然や健全な生態系を保護することにつながります。

撮影場所／深山ダム  
撮影者／那須塩原市 井上 賢氏



那須野が原の豊かな水資源は、那須疏水に支えられています。那須疏水は、福島県の安積疏水(あさかそすい)、京都府の琵琶湖疏水(びわこそすい)とともに、日本三大疏水の一つに数えられます。

## 那須野が原は私たちのふるさと

那須地域の豊かな自然を維持し、水や食の安全を確保することで、未来に生きることもたちを守りたい。それが私たちの役目であり、願いです。



**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

1 経済を なくす ために	2 食糧を なくす ために	3 すべての 人に 健康と 福祉を	4 すべての 人に 教育を	5 ジンジャー 平等を 実現しよう	6 全世界の人々 を世界中に つなげよう
7 こどもたち のために エネルギーを なくす	8 働きがいも と 経済を なくす	9 畜産と 効率的な 農業を なくす	10 人気者の 生物を なくす	11 住む ところを なくす	12 つくる責任 とつかう 責任を
13 環境を なくす ために 生物多様性 を守る	14 清潔な 水を なくす	15 穀物を なくす	16 幸せの 社会を なくす	17 パラナシエ で 生物多様性 を保つ	

私たちができる目標もあります。  
**地元の食材を購入する**

地元の食材を購入することは、地域活性化につながる簡単な取り組みです。加えて、距離の離れた土地から届いた食材は、輸送の段階でエネルギーを消費し、それだけ二酸化炭素を排出していることになります。地元の食材を購入することは、輸送エネルギー削減にも貢献します。

その他にも、

- エコバッグを利用するなどプラスチックの利用を避ける
- 水道や電気はこまめに消す。
- 料理の際は、ごみの削減につとめる。
- 家庭菜園をすることで改めて食べ物の大切さを認識する。
- 外出の際には水筒やマイ箸・スプーン等を持ち歩く。などできることは沢山あります。

まずは今すぐできることから始めてみましょう。

**SDGs**

「持続可能な開発目標」という意味の英語「sustainable development goals」(サステイナブル・ディベロップメント・ゴーリズ)の頭文字をとったもの。国連で決めた、より良い未来をつくる17の目標を2030年までに達成するため、世界中で協力して取り組んでいます。

## 那須地域環境対策連絡協議会とは

本協議会は、那須地域の『人と自然と食』に関わる全ての環境問題に関し、市民の立場で環境問題等を関係者、関係機関と連絡調整を行いつつ、那須地域のグランドデザインを構想・立案するとともに、行政等に対し具体的な提案を行うことを目的にしています。

農業の生産と管理販売を行う『JAなすの』、農業用水の維持管理を行う『那須野ヶ原土地改良区連合』、自治会を統括運営する『那須塩原市自治会連絡協議会』と産廃処理施設設置反対委員会が発起人となり平成18年(2006年)12月6日に設立し活動中です。

## 那須野が原の美しい環境を未来へ

那須塩原市は豊かな自然と水に恵まれ、四季折々に多彩な表情を魅せます。明治期の那須野が原開拓において、明治18年に那須疏水が開削され、命の水が荒涼たる大地を潤しました。この開拓の歴史は、那須野が原開拓浪漫譚として、2018年に日本遺産に認定されました。時は移り、昭和の高度成長期から平成まで、経済成長の負の産物である大量の産業廃棄物が県外から那須塩原市の一帯地域に埋め立てられた事実を市民の大多数は知りません。平成18年12月、日本

最大の産廃処理施設の建設設計画に端を発し、那須地域が育む豊かな生態系や美しい自然環境を未来に引き継ぎ、人と自然に優しい地域を創生することを目的に「那須地域環境対策連絡協議会」は設立され現在も活動を続けています。さて、近年、地球温暖化が大きな環境問題になっています。CO<sub>2</sub>の削減により持続可能な循環型社会を実現し、那須野が原の美しい環境を子どもたちにそして未来に引き継いでいきましょう。

那須地域環境対策連絡協議会

会長 橋本 秀晴

発行：那須地域環境対策連絡協議会

(那須野が原土地改良区連合内) 電話: 0287-36-0632

那須塩原市自治会連絡協議会/那須野農業協同組合/那須野ヶ原土地改良区連合  
青木地区環境対策委員会/赤田環境対策委員会/戸田地区環境保全委員会  
湯宮産業廃棄物対策協議委員会



那須地域  
環境対策連絡協議会  
ホームページ

# ＼守る自然、つなぐ未来／ アクション！ 那須野が原



那須塩原市を愛する全ての人見てほしい。  
今、この時、この場所の環境が、どう変化しているのか。